

第三十回義士親善友好都市交流会議

忠臣蔵サミット



三和

みよし

入場無料

大石内蔵助



菅谷半之丞



瑤泉院



イラスト: もりいくすお氏

平成30年7月20日(金) 13:00~16:30

- 場所/三次市民ホールきりり 広島県三次市三次町111-1
- 開場/12:00~(予定) ● 開会行事/13:00~
- 参加自治体事例発表「誇れるわがまちと忠臣蔵」/13:25~



- 記念講演/14:50~
イラストレーター もりいくすお氏
「忠臣蔵 テレビのおはなしとゆかりの地と」



- 三和町田舎芝居同好会わらじ座/15:45~
「赤穂浪士銘々伝 南部坂雪の別れ」

「忠臣蔵サミット」とは 平成元年、兵庫県赤穂市が「赤穂義士ゆかりの地」の所在する全国の自治体に呼びかけ、「義士親善友好都市交流会議(忠臣蔵サミット)」が創設されました。現在、同サミットには全国32の自治体が名を連ねており、毎年1回「忠臣蔵サミット」が開催されています。三次市では平成16年に続いて3回目の開催となります。

忠臣蔵と三次市との関わり 三次は、赤穂藩主浅野内匠頭長矩の妻、阿久利姫(後の瑤泉院)が誕生した地です。鳳源寺は、阿久利姫の父、三次藩初代藩主浅野長治が建立した菩提寺で、鳳源寺の境内には、大石内蔵助良雄が手植えしたと伝えられる枝垂桜や、瑤泉院の遺髪を納めたとされる遺髪塔、四十七士の木造を安置した義士堂があります。また、菅谷半之丞正利は三次町寺戸に庵を建て、討入りの時を待ちました。

※内容は一部変更する場合があります。